

地球温暖化防止実行計画

2019年9月
株式会社グリーン

6 基準年度(計画前年度)のCO2排出状況 (2018年度)

※排出係数は、2013年度(平成25年度)に固定する。

燃料等区分	使用量	CO2 排出係数	CO2排出量 (kg-CO2)	CO2排出割合 (%)
電 気 (kwh)	22,403	0.63	14,114	29%
ガソリン (L)	14,574	2.32	33,812	71%
軽 油 (L)	0	2.58	0	0%
灯 油 (L)	0	2.49	0	0%
A重油 (L)	0	2.71	0	0%
都市ガス (m ³)	0	2.29	0	0%
液化天然ガスLPG(kg)	0	5.97	0	0%
			47,926	100%

7 事業の中で排出される温室効果ガスの主な排出原因

- ① 本社内の照明および空調機器等にかかる電気
② 移動に使用するガソリン

8 CO2排出量削減目標

※削減対象は、上記6に記載する燃料等のエネルギー起源二酸化炭素排出量とします。

A CO2総排出量による目標設定 (原単位の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	2019	2020	2021	2022	2023
CO2排出量 (kg-CO2)	46,967	46,009	45,050	44,092	43,133
対基準年度削減目標	2%	4%	6%	8%	10%

B 原単位によるCO2総排出量の目標設定 (原単位以外の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	
CO2排出量 (kg-CO2)	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	
対基準年度削減目標	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	
原単位に用いた指標					
上記指標を設定した理由					

9 CO2排出量削減に向けての具体的な取組内容

電 気：本社内での冷暖房は、基準温度に設定し効率良い運転を行う。
設備機器の省エネ機器への更新及び定期点検の実施を行う。
照明器具のこまめな消灯、設備機器の電源OFFで省エネ化を進める。
クールビズ、ウォームビズに取り組む。
OA機器の節電機能を活用し節電に努める。

ガソリン：エコドライブを徹底して、定期点検整備を行う。
タイヤの空気圧を適正に保つ。

10 その他の環境に関する取組

【廃棄物の排出削減】

2018年度(基準年)の排出量:(798)kg

通年取組事項

- ・ 廃棄物の分別を徹底し、置き場を整備する。
- ・ 詰め替え可能な製品を優先的に購入、使用する。
- ・ ものを大事に使う。

【紙の使用量削減】

2018年度(基準年)の使用量:(130,500)枚

通年取組事項

- ・ OA用紙の裏面活用に努める。不要な印刷の削減に努める。
- ・ 社内メール等の活用で、紙ベースでの回覧を削減する。
- ・ リセットボタンの徹底によるミスコピーの削減する。
- ・ 会議資料等は、簡素化し必要部数を作成・配布する。

【水の使用量削減】

2018年度(基準年)の使用量:(86)m³

通年取組事項

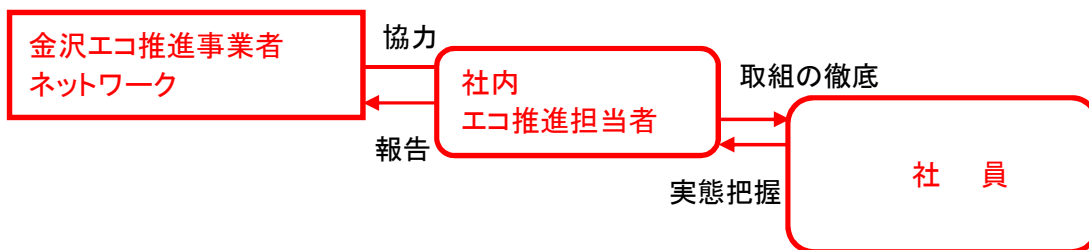
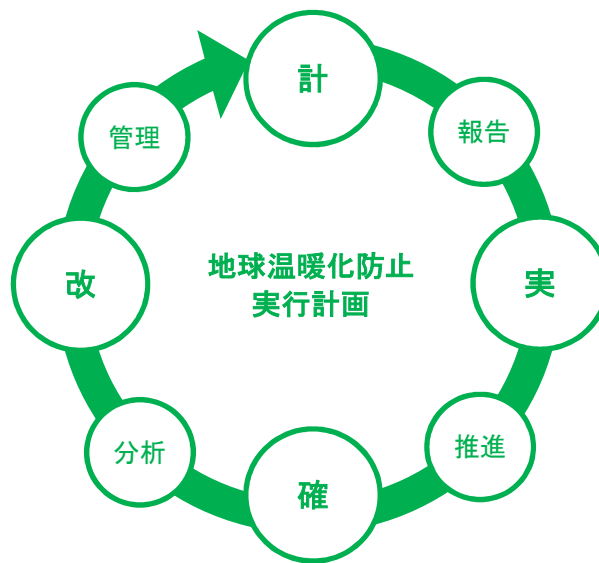
- ・ 水を流しっぱなしにしない等、節水に努める。
- ・ 水道蛇口は、きちんと閉める。

(環境保全活動の推進)

- ・ 町並み環境緑化等の美化活動に取り組む。

11 計画の推進体制および社員研修

(推進体制)



この地球温暖化計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するためエコ推進担当者を中心に全社員が具体的なエコ活動に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。

(社員研修)

エコドライブ講習(社内・外部)、節電対策案内等、身近なところでの社員へのエコ活動実施推進を周知＝教育として取り組みます。